

事業報告書

1 団体名	いっと子ウエーブ
2 事業名	世代間交流で人とまちの未来を切り拓く“いっと子ウエーブ”
3 実施期間	2023年6月6日～2024年2月29日
4 事業実績(日程・人数・会場等)	<p>※配布したチラシの枚数や参加人数等詳細にご記入ください。 《会場:糸島市深江 コミュニティスタジオ“うみかえる”及び二丈交流体験広場》</p> <p>【補助期間対象外】</p> <p>2023年4月29日(土) 畑:畑プロジェクトオープン→雨のため中止 遊び場:ビーズ細工、すごろくづくり、高校生への要望を聞く 科学教室:燃焼 参加人数:高校生:18人、中学生まで:10名、大人:18名 配布チラシ枚数:200枚 開催概要:雨天のため糸島農業高等学校による畑プロジェクトは中止、うみかえる(屋内)では、糸島高等学校によるビーズ細工づくり、大人による科学教室が開催された。参加した、小学生に「どのような作物を栽培したいか」との聞き取りを行った。</p> <p>2023年5月20日(土) 畑:畑プロジェクトオープン(サツマイモ、トウモロコシ植え付け)、ミニ動物園 参加人数:高校生:26人、中学生まで:20名、大人:16名 配布チラシ枚数:200枚 開催概要:畑プロジェクトのスタートであり、畑を耕起し、施肥を行い、土づくりを行った。また、糸島農業高等学校で動物との触れ合いを目的に設立された部活動“あにとぴあ”の参加をいただき、ミニ動物園を開催した。</p> <p>2023年5月27日(土)畑整備 畑:畑整備 参加人数:高校生:24人、大人:8名 開催概要:5月20日の作業の不足分を実施し、6月10日の植付け準備を行った。</p> <p>畑管理:5/28, 5/29, 6/2(3回)</p>

【補助期間対象内】

2023年6月10日(土)

畑:畑整備(ヒマワリ植え付け)、耕起、土づくり、サツマイモ、トウモロコシ生育管理  
参加人数:高校生:14人(うち講師14名)、中学生まで:8名、  
大人:16名(うち講師1名)

配布チラシ枚数:300枚

開催概要:畑の一部を耕起して、ヒマワリの播種を行った。参加者は少人数であったが、高校生と触れ合うことで多くの刺激を受けたようであった。  
また、参加者には、この場所が高校生が主体的に企画する地域の交流の場であり、参加者も何を行いたいかなど積極的に提案してほしいとご案内し、参加した小学生からは「栽培したい作物名」が出された。

畑管理作業:6/7, 6/14, 6/16, 6/23, 7/2, 7/5, 7/10(7回)

2023年7月15日(土)

畑:畑プロジェクト、ミニ動物園

遊び場:水鉄砲づくり

科学実験:過冷却

参加人数:高校生:26人(うち講師26名)、中学生まで:22名、  
大人:25名(うち講師3名)

配布チラシ枚数:200枚

開催概要:畑、ミニ動物園、クラフト制作、科学教室と揃ったため、多くの来場者でにぎわった一日でした。特にミニ動物園を主宰していただいた「あにとびあ」のメンバーのご家族が多く参加いただき、いつもとは違う来場者でにぎわった。ご家族ではじめて参加された方には、この場所が高校生が主体となって取り組み、参加者の要望によって事業内容を発展させていく場であることを説明した。

畑管理作業:7/24, 7/28, 7/31, 8/4, 8/11(5回)

2023年8月12日(土)

畑:畑プロジェクト:ヒマワリ収穫、耕起、土づくり

遊び場:お話の場づくり

科学教室:磁石

高校生へのインタビュー

参加人数:高校生:20(うち講師20名)、中学生まで:18名、  
大人:22名(うち講師3名)

配布チラシ枚数:300枚

開催概要:トウモロコシの収穫を行ったが、天候の関係で収穫量は少なかった。糸島高等学校の皆さんが、畑作業を行うなど、交流を図った。また、中学生が来場し、身近な存在である高校生から高校の話や聞くなど、未来についてのアドバイスを受けることができた。

また、現在策定中の「こどもの権利条例(案)」策定のための高校生インタビューに協力させていただき、市の政策推進に協力することができた。参加した高校生からは、今まで、主体的に取り組んできた「いっと子ウェブ」の取り組みも含め、子どもが「意見表明」しながら地域の活動をリードしていく事の重要性を話していただいた。また、同席した中学生も高

校生の積極的な発言に刺激をいただいている様子であった。

畑管理作業:8/20, 9/1 (2回)

2023年9月9日(土)

畑:畑プロジェクト:耕起、土づくり

参加人数:高校生:20人(うち講師20名)、中学生まで:0名、  
大人:2名(うち講師1名)

開催概要:9月16日の畑の準備を行った。

今回は、一般の参加は募らなかったため、今後のいとし子ウエーブの開催に関しての、意見やアイデアを高校生から出していただいた。高校生からは、深江小校区だけでなく、近隣地(福吉、一貴山、加布里、南風等)にも、積極的にお声掛けしてみてもどうか、また、小中学校だけでなく、幼稚園、保育園にもお声掛けしてみてもどうかという意見が出され、早速、チラシ配布を行った。

畑管理作業:9/10, 9/15(2回)

2023年9月16日(土)

畑:畑プロジェクト:カブ、ダイコン、ニンジン、ジャガイモ植え付け、ヒマワリ整地  
遊び場:マラカスづくり

参加人数:高校生:16人(うち講師16名)、中学生まで:15名、  
大人:18名(うち講師3名)

配布チラシ枚数:1,000枚

開催概要:作成したチラシを深江小学校(250枚)、二丈中学校(320枚)の他、コミュニティセンター(深江、一貴山、福吉、加布里、長糸、雷山、南風、前原南)、図書館二丈館、幼稚園等に配布した。冬に収穫予定の野菜の植え付けを行った。建物では、マラカスづくりを行った。小学生の時から参加している方が中学生になって引き続き参加していただいた。世代間のつながりを実感した瞬間であった。

畑管理作業:9/19, 9/23, 9/25, 9/27, 9/28, 9/29, 10/1, 10/2, 10/4,  
10/5, 10/8, 10/12(12回)

2023年10月14日(土)

畑:畑プロジェクト:サツマイモ収穫、カブ間引き、スイカ収穫  
遊び場:スノードーム、スライムづくり

科学教室:水と油

参加人数:高校生:15人(うち講師15名)、中学生まで:10名、  
大人:12名(うち講師3名)

配布チラシ枚数:300枚

開催概要:畑ではサツマイモの収穫を行い、焼き芋をした。また、小学生のリクエストにより実現した、スイカの収穫も行った。建物では、スノードームやスライムを作り、高校生からの意見で「保育園や幼稚園にも声をかけよう」という事で声をかけた保育園児がお母様とともに参加いただいた。

畑管理作業:10/15, 10/18, 10/19, 10/21, 10/24, 10/26, 10/29, 11/3, 11/5, 11/12(10回)

2023年11月18日(土)

畑:畑プロジェクト:中止

科学教室:磁石

参加人数:高校生:0人(うち講師0名)、中学生まで:1名、  
大人:3名(うち講師1名)

配布チラシ枚数:250枚

開催概要:荒天のため中止となったが、チラシにて開催をお知らせしていたため、念のため、科学教室の来田さんと待機していたところ、一組の親子に参加いただき、科学教室並びにお話会を開催した。少人数でじっくりと教育環境について語ることができ、これはこれで有意義な時間だった。

畑管理作業:11/19, 12/3, 12/4, 12/10(4回)

2023年12月16日(土)

遊び場:将棋大会、クリスマスオーナメントづくり

科学教室:発電の仕組み、静電気

参加人数:高校生:16人(うち講師16名)、中学生まで:14名、  
大人:18名(うち講師2名)

配布チラシ枚数:250枚

開催概要:今回は、糸島農業高等学校の皆さんの都合が合わず、畑作業は行わず、建物の中で、クリスマスオーナメントづくり、将棋大会を行った。将棋大会は、3年前に中学時代に参加していただいた方が、企画者として参加していただいた。

畑管理作業:12/24, 1/3, 1/7, 1/22(4回)

2024年1月28日(日)

畑:畑プロジェクト:カブ、ニンジン、ダイコン収穫、ミニ動物園

遊び場:もちつき、料理、将棋大会

科学教室:岩石、結晶

参加人数:高校生:20人(うち講師20名)、中学生まで:16名、  
大人:32名(うち講師2名)

配布チラシ枚数:250枚

開催概要:保育園と合同でもちつきを行った。もちつきのための薪は高校生と一緒に集めてきたものである。畑の収穫作業やミニ動物園に保育園の方々に参加し、にぎやかな一日となった。食事は、畑で収穫した野菜で豚汁をつくった。また、糸島農業高等学校を2年前に卒業した方が、就職先の商品をお土産に持参し、参加していただいた。

	<p>2024年2月10日(土)</p> <p>畑:畑プロジェクト:整地 遊び場:カードゲーム、将棋大会、焼き芋 科学教室:テーマは、「確率」 参加人数:高校生:14人(うち講師14名)、中学生まで:16名、 大人:20名(うち講師2名) 配布チラシ枚数:200枚</p> <p>開催概要:畑は、1年間の契約で借地している市有地のため、1年間の収穫に感謝しながら、畑を原状回復した。建物では、将棋大会、科学教室(テーマは、確率)を行った。畑プロジェクトから参加している、小学生が家族で参加していただき、高校生と触れ合いを行った。 また、糸島市の出身で「地域づくり」を専攻している大学生に参加していただき、今後の事業運営について意見・アイデアを出していただき、今後の事業運営についても関わっていただく事になった。 3月は、開催せず、4月に新年度の計画づくりを行う事とした。</p> <p>キャリア講演会について</p> <p>本年度、深江小学校にて2回開催をしていたが、日程調整を行ったものの、予定していた学年(5年生)でインフルエンザ等の学級閉鎖が続き、授業時数の確保の関係で講演会の開催はできなかった。 そこで、5,6年生を対象に「小学生の未来づくりに地域活動や地域人材がどのように関わるか」をテーマにアンケートのみを実施し集計を行った。 当初は、講演会の準備、授業案の作成、講演会の実施、アンケートの作成、集計などを大学生とともに行う予定であったが、アンケートのみとなったため、スタッフで集計を行った。</p> <p>提案事業以外の活動について</p> <p>(1)FM東京「あぐりずむ」出演</p> <p>FM東京で農業をテーマに活動を行っている事例を報告する番組「あぐりずむ」のインタビューを受け、全国に向け活動を報告した。</p> <p>(2)鳥取県境港市生涯学習課より公民館主事研修講師の依頼</p> <p>高校生の連携や世代間交流を進める、鳥取県境港市生涯学習課より依頼があり、公民館主事、地域コーディネーターを対象に「高校生が主体的に関わる活動の意義と地域の役割」をテーマに研修講師(オンライン)を務めた。参加者からは、「高校生が主体的に関わる事で高校生を中心として世代間交流が進む」「高校生が地域活動を意欲を持って取り組む事で、地域に対する愛着や将来、地域に戻り活躍したいと思う気持ちが養われる」などの感想が寄せられた。</p>
<p>5事業の成果 (事業計画時の目的、目標に対する成果)</p>	<p>※この事業を実施し、得られたものは何ですか。</p> <p>高校生が主体的に取り組むを行う事で、高校生が自分たちが学んでいることや日々の活動に誇りを持つ事ができ、日頃の学びを参加者に説明する事で、市民の皆さんが農業高校の学びの素晴らしさを感じられている。参加や見学の大人たちが、高校生に様々なアドバイスを行っていただき、高校生は大人の生き方や仕事に対する考え方を学んでいる。また、高校生が身の回りの事や世の中の事を考えるきっかけとなり、自分の意見を持ち、様々な提言を行っているので、行政の若者世代のヒアリングの場としても活用いただいている。</p> <p>糸島市民の皆さんの中に、中高生が地域活動を主体的に行う事の意義について考える機会となり市内の様々な場面で活動する様子も見られるようになった。 また、参加者からは、「科学の知識」「友達との触れ合い方」「自分がやりたいこと</p>

	<p>を伝えられたこと」「知らなかったことを知ることができた」「動物との触れ合い」「畑作業が楽しかった」「体験することや、色んな人と触れ合う事で、人に優しくしたり思いやり助け合う気持ちが生まれた」「平和に過ごすことができる場所の意義は大きく、平和を感じるようになるようになった」「高校生と交流ができ、人懐っこさが益々増してきた」「交流した大人や高校生が優しくだったので、積極的にお話ができるようになった」「高校生から地域活動に関する取り組みを聞くことで、視野が広がった」などの意見をいただいた。</p> <p>高校生からは、「コミュニケーションの取り方や能力が向上した」「農作業の大変さや楽しさを改めて感じる事ができた」「日ごろ接することが無い年下の方々と話すことができるようになった」「地域の人々に対する気持ちや、協力する事の大切さを学べた」「地域の魅力を感じる事ができた」「自ら考え行動する力が身についた」「いろいろな世代との関わり方が学べた」「自分の将来を決めるきっかけの場所となった」などの変化があったと感想をいただいた。</p> <p>以上の結果より、いっこ子ウェブに参加する事で、いろいろな世代の方との交流ができ、将来に向けて重要となるコミュニケーション力が高まると同時に地域に対する愛着を持つことができるようになることがわかった。また、小学生が高校生に向かった、遊びたい事や畑で作りたい作物などのリクエストを遠慮なくできるようになったことは、交流の場づくりの大きな成果であると感じている。このように思った事や感じたことを素直に言葉に出して相手に伝えることができる場所に参加する事をきっかけに、学校や地域社会でも人とひとのつながりを大切にする子どもたちが育っていく事は非常に有意義であると感じている。</p>
<p>6 事業実施における課題等</p>	<p>高校生が主体となることを大切にしているので、定期テストや学校行事などを勘案しながら日程を決めていますが、この日程が参加の子どもたちや地域の方々の都合に合わないことも多々あります。高校生の都合を最優先しているため、参加人数ではなく、高校生のやりがいの場づくりを考えながら、最適の活動を行っていきます。</p> <p>また、自主財源の確保に関しては、地元に残ったり、Uターンしたりして地域貢献活動を行う、若者を応援する事を目的に新たなビジネスを立ち上げようと「ふくおかよかとこビジネスプランコンテスト」に応募しました。2次審査まで進み、多くの専門家の方々から有益なご意見を賜り、糸島の地域貢献人材を支援するビジネスを立ち上げる事で、いっこ子ウェブの自主財源としたいと考えております。</p> <p>一方で、いっこ子ウェブ開催の結果、地域に対してどのような影響があるか、地域の未来にとって何がプラスになるのか、地域を担う人材にどうつながっていくのかについては、更に検証していく必要がある。</p>
<p>7 今後の展開</p>	<p>高校生を中心とすることで、あらゆる世代が交流できる場づくりのモデルができたと感じている。今後は、コミュニティセンターや社会福祉協議会との連携を一層深め、地域の交流の場をもっともっと幅広い層の方々に活用していただける広報が大切であると感じている。同時に、今後は、この取り組みを市内外に広げていくことができるよう、地域の居場所づくりを行う方々との連携を一層図っていきたい。</p> <p>また、高校生が主体となる地域活動を応援する事で、将来、糸島で活躍する人材の育成につながると感じている。いっこ子ウェブを通じて一緒に活動した高校生の中には、卒業後も地元に残り活躍している方々も多い。また、卒業後に進学や就職で一度は糸島を離れてもいつかは、糸島に戻って来たいと思っている方々が戻って来れる環境を整えていくもの我々に課せられたミッションであると感じており、今後の展開の柱としていきたいと考えている。</p>

※写真等の活動の様子がわかる資料や作成したチラシ等も添付してください。